大阪府議会各会派幹事長殿

**『釜ケ崎就労対策』発足第一歩を踏出すにあたって**

　　　　　　　　　　　　　　　　　釜ケ崎就労・生活保障制度実現をめざす連絡会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（略称・釜ケ崎反失業連絡会）

　　　　　　　　　　　　　　　　　共同代表　山田　実・本田哲郎・村松由夫

　　　　　　　　　　　　　　　　　連絡先

　　　　　　　　　　　　　　　　　　西成区萩之茶屋2-5-25釜ケ崎解放会館内

　　　　　　　　　　　　　　　　　　釜ケ崎日雇労働組合

　　　　　　　　　　　　　　　　　　西成区萩之茶屋3-1-10ふるさとの家気付

　　　　　　　　　　　　　　　　　　釜ケ崎高齢日雇労働者の仕事と生活を勝ちとる会

　私たちは１９９３年９月に大阪府・市に対して要望書を提出し、ひたすら釜ケ崎の労働者が路上で死に追いやられることがない社会制度を求めて活動を続けて参りました。

　それから三年、今日においても釜ケ崎の炊き出しには多くの労働者が並び、路上生活を余儀なくされ、路上での死を強制されるものも、残念ながらあとをたちません。

　しかしながら、私たちは今、三年前とは違う状況の中に居ることを認識しています。

　本年９月、府補正予算に『釜ケ崎就労対策』が組込まれ、府議会において可決されました。このことは、行政の釜ケ崎に対する認識がいささかなりとも改まったことを示すとともに、府議会議員各位の釜ケ崎に対する理解の深まりとご配慮の結果であろうと受け取っております。また、補正予算での取り組みは釜ケ崎への対策の緊急性を認識されてのことと考えられ、府議諸氏のご見識に敬意と感謝の意を表したいと思います。

　『釜ケ崎就労対策』の発足にあたり、ご尽力頂いた皆様に、釜ケ崎の労働者と共に厚く御礼申し上げます。

　と、同時に、補正予算での発足は暫定的なものであり、来年度予算において本格的なものとしての正式発足が検討されているものと信じておりますが、一層のご尽力を御願い致します。

　また、先に提出致しました請願は、引続き継続扱いとなっております。諸氏におかれてもご賢察のごとく、釜ケ崎の課題解決は大阪府・市のみでなく国と一体となって取り組まなければ成しえないことは明らかです。先の請願の各項目につきましても、ご理解と成案に向けての重ねてのご努力を御願い致します。\_